

ODA おしゃりん

第 150 号

2021 発行
3月

会員投稿 枝川泰邦さん 2p

脊損関連NEWS / お知らせ 3p

脊髄損傷、4割は「平地転倒」原因高齢化の影響、交通事故上回る

4-5p

障がい者IT活用ストーリー 6p

活動アラカルト

浦添市のコミュニティバスにバリアフリー化要望しました / デジタル社会に困っていませんか?

6-7p

バリアフリースポット / 編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
 E-mail office@okisekikyo.com
 ホームページ <http://okisekikyo.com/>
 facebook <https://fb.com/okisekikyo> Skype ID:okisekikyo

表紙写真: 枝川泰邦さん

えがわやすくに
会員投稿 枝川泰邦さん

振り返れば脊損歴51年あまり？

事故当時の1969（昭和44）年8月15日、みかん園の消毒作業に行く途中の上り坂で、トレーラーが付いた耕運機の動力源のベルトが切れて後ろに流れ、轢かれました。

事故直後、一緒にいて無事だった友人が私の足を動かしましたが、足を触られているという感覚がなく、村立の診療所で二晩ほど過ごした後、那覇市の病院へ転院しギプス固定して2ヶ月半入院治療をしました。ギプスが取れると同時に退院させられ、自宅療養に入りました。

脊損が何たるかを知らないまま、股関節や尾てい骨にできた褥瘡が完全に治ることもなくずっと悩まされていました。ケガから1年が過ぎた頃は高熱に悩まされ、起きて座っているのもつらい寝たきりに近い状態も体験しました。

1972年の祖国復帰を前に琉球政府発行の身体障害者手帳を取得。その後、南風原町にできたばかりの太陽の町に入所しましたが、ADL（自立生活訓練）もできていなかった私は1ヶ月が経ったないうちに退所し再び自宅療養。その後、北部福祉事務所のケースワーカー繋がり、1973年に兵庫県立リハビリテーションセンター附属病院に入院し、褥瘡の治療と硬直していた足首の手術などを経て機能回復訓練に取りかかりました。

退院後は兵庫県立身体障害者職業訓練校に入校し、1年間機械製図の勉強をしました。



その時の指導員に、私が運転できるように車両を改造し、運転の練習ができるように自動車教習所に車を持ち込んでもらい、おかげさまで飛び入りで受験する形で運転免許証を取得しました。

その後明和工業協同組合という身障者の仲間数名で設立した福祉工場的な職場に就職しましたが、そこでも褥瘡で入院治療を繰り返してしまう始末。退院後にセンター内授産施設で写植の勉強をして友人宅で写植の仕事で勤めていましたが、たちまち金銭面で苦しくなり、1982年

10月頃に沖縄に帰って来ました。

帰郷後、写植での自立を目指して浦添市にある沖縄コロニーセンターに入所しました。そこで妻と知り合って結婚。妻の実家に間借りしてコロニーに通所しましたが、遠距離で出勤が朝早く、サービス残業が多かったこともありまたしても褥瘡で入院。それを機に写植で自営する決心をし、生活福祉資金貸付制度を活用して300万円以上の借金をして中古の写植機を購入して自営を始めました。コロニー勤務時には兵庫で車いすバスケ経験者という情報が伝わっていたこともあり、車いすバスケチームの「シーサークラブ」(現SEASIRS)に誘われ、車いすバスケも始めました。当時、沖縄が九州大会での初勝利したのは私が初参加した時でした。その後沖縄県で開催された全国身体障害者スポーツ大会へも同競技で参加しました。



写植の話ですが1990年代初めのころにマッキントッシュ (以後Mac) がデザイナーの間で流行りはじめたのを見ていて、いずれ写植は無くなると思い借金を重ねて念願のMacを購入。最初は妻がワープロ代わりで使っていましたが、イラストレーターというソフトを使って地図やロゴ作成をして写植との併用で使用していました。

現在、就労支援事業所障がい者ITサポートおきなわのB型で、これまで培った写植やDTPの経験を生かすべく1月から就労を始めました。

勤務のうち、週3回はうるま市の自宅から浦添市の事業所にインターネットを介してのテレビ電話やチャットでやりとりしたり、遠隔操作をしたりして仕事をするテレワークをしていますが、今は何が何だか分からない状況です。

新しいこともいっぱい覚えないといけないので、頭は毎日混乱していますが、少しずつできてきています。



脊損関連 NEWS 障害者差別解消法 改正の方向

～障害者配慮でスロープ設置等の義務化～

2020/12/26 読売新聞

政府は、民間の企業や店舗に対し、障害者の社会生活上のバリア（障壁）を負担が重すぎない範囲で取り除く「合理的配慮」の提供を義務付けるため、障害者差別解消法を改正する方針を固めた。1月召集の通常国会に同法改正案を提出する方向で調整している。

東京五輪・パラリンピックを来年に控え、障害のある人もない人も互いに認め合いながら共に生きる「共生社会」の実現を目指す狙いがある。

同法は2016年4月に施行され、国や自治体、民間事業者に対し、障害を理由とした差別を禁じている。さらに、合理的配慮の提供を国や自治体には義務化しているが、民間事業者については自主的な取り組みを求める努力義務にとどまっていた。法改正でこれを見直し、民間事業者にも義務化して、公的機関と足並みをそろえる。



脊損のワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチン接種が2月から始まっています。高齢者は4月からを予定し、その後に基礎疾患の方々という段取りのようです。

脊髄損傷は優先接種として「新型コロナウイルスワクチンの優先接種の対象とする基礎疾患の基準手引き」に記載されています。

下記の参照のうえ、かかりつけ医等にご相談ください。
②下記のうち、**呼吸障害等の身体脆弱性**をきたした者・筋萎縮性側索硬化症・脊髄性筋萎縮症・球脊髄性筋萎縮症・進行性筋ジストロフィー症・パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症・多系統萎縮症・脊髄小脳変性症・ハンチントン舞蹈病、その他の舞蹈病を含む・家族性アミロイドーシス、その他の重症末梢神経障害・**脊髄損傷**

サンシャインゆいま～る基金報告とお礼

「サンシャインゆいま～る第8回2020年後期クール」にて寄付金をいただきました。

今回は90,000円でした！

厚く御礼申し上げます。

コロナ禍のたいへんな中、沖脊協へ投票いただいている仲間の皆さん、いつもありがとうございます。皆さまのご厚意は、沖脊協の運営に役立たせていただきます。今後とも応援よろしくをお願いいたします。



R.C.Y.

Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28

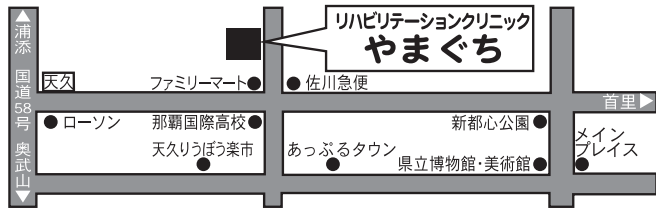
TEL098-864-1100

診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ ○ / ○ ○

安らぎ・癒し・元気を提供します。



ちはる歯科クリニック

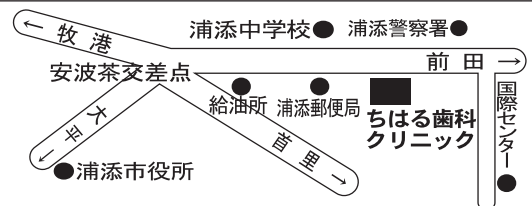
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。



日本脊髄障害医学会の全国調査報告

脊髄損傷、4割は「平地転倒」原因 高齢化の影響、交通事故上回る

外傷性の脊髄損傷（脊損）の原因で最も多いのは平地で転ぶ「平地転倒」で、38.6%を占めていることが、日本脊髄障害医学会（島田洋一理事長）の全国調査で明らかになった。2位は転落、3位は交通事故。1990～92年の前回調査では交通事故、転落、平地の順で、データを解析した秋田大大学院医学系研究科の宮腰尚久准教授（整形外科）は「平地転倒の多くは高齢者であり、順位の入替わりは高齢化の影響と言える。高齢者の転倒予防対策が脊髄損傷予防の大きな課題だ」と話している。

100万人当たり49人



調査は同医学会の脊損予防委員会（委員長・須田浩太北海道せき損センター副院長）が2019年、全国3771の2次、3次救急施設に調査票を送り、2018年の1年間に急性期入院治療を行った外傷性脊損の患者について、年齢や受傷原因、まひの程度などについて質問。2804施設（74.4%）から4603人分の回答があった。

脊損患者のほとんどはこれらの救急施設に搬送されていることから、回答率、回答数を基に脊損の発生率は人口100万人当たり年に49人と推定した（日本の人口に単純に当てはめると年約6000人）。前回調査の同39～41人より増えた。受傷時の平均年齢は66.5歳、ピーク年齢は70代で、前回の平均48.6歳、ピークは59歳と20歳の「三峰」より高齢化していた。男性は女性の約3倍だった。

10代はスポーツ原因

受傷原因は多い順に、平地転倒（38.6%）、転落（23.9%＝3メートル以上の高所から10.2%、低所から13.7%）、交通事故（20.1%）。前は交通事故（43.7%）、転落（28.9%）、平地転倒（12.9%）で、交通事故の割合が半減する一方、平地転倒が3倍になった。年代別に見ると、10代はスポーツ、9歳以下と20～40代は交通事故が多く、50代は交通事故と平地転倒がほぼ同じ、60代以上は平地転



交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25 新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高（沖縄弁護士会所属）

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

倒が最も多かった。スポーツが原因の受傷の内訳では、スキーが11.9%で最多だった。

損傷部位は首の頸髄が88.1%と圧倒的に多く、胸髄・腰髄が10.1%。まひの程度を示すフランク分類では「D：歩行可能あるいはできそうである」(46.3%)、「C：歩行不能あるいはできそうにない」(33.0%)、「A：損傷部以下の運動及び知覚の完全まひ・消失」(11.0%)、「B：運動は完全まひだが何らかの感覚が残存している」(9.7%)だった。損傷部位とまひの程度の間には関連性がみられ、高齢者は平地転倒による比較的軽症な頸髄損傷、若い世代では高所からの転落で完全まひとなりやすい胸髄・腰髄損傷が多い傾向があったという。

骨折なくとも損傷

須田さんによると、脊損の原因は国や地域、社会情勢によって異なり、オートバイが主要な交通機関であるベトナムでは交通事故が多く、ネパールでは山岳での転落、高齢化が進み交通インフラが整った先進国では平地転倒が目立つ。26年ぶりの全国調査は「時代の流れで、日本も原因が変わっているはず」という予測に加え、2020東京パラリンピックの開催決定もきっかけになった。調査結果は予想通り、他の先進国同様に平地転倒がトップとなった。

高齢者は一般に、骨がもろく周囲の筋肉も弱っているため骨折しやすい。だが、今回の調査では骨折なくとも脊損が生じる「非骨傷性頸髄損傷」が多いことも分かった。その原因について宮腰さんは、日本人はもともと脊髄が通る脊柱管が狭いことが影響している、と説明する。「脊柱管は加齢による変性でさらに狭くなり、この状態で転倒によって軽微な外傷が加わると、骨折なくとも頸髄がダメージを受けてまひを生じると考えられている」というわけだ。

啓発で受傷防止を

調査結果から啓発活動の有効性も確認できた。前回調査では、水泳の飛び込みによる脊損がスポーツを原因とする脊損の21.6%を占めていたが、今回は4.4%に激減した。前回調査を踏まえ「医学会が中心になって飛び込みによる受傷防止のキャンペーンを全国の学校に広めた成果」(宮腰さん)だった。

調査結果全般について、宮腰さんは「バランス訓練や筋力訓練により、高齢者の転倒が減ったという研究もある。運動療法だけでなく、転倒しにくい生活環境の整備、つえや歩行器の使用など、多様な転倒予防対策が必要だ」と指摘。須田さんも「一度損傷した神経を元通りにするのは難しいのに対し、予防は誰にでもできる。不幸になる人を減らすためにも、高齢者にけがをさせない啓発活動を進めたい」と話している。



民間車検場(沖指第590号)/(株)ミックライフ&オート総合代理店

ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL: (098) 958-6556
FAX: (098) 958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二

活動アラカルト

浦添市のコミュニティバスにバリアフリー化要望しました

沖縄県でも各市町村単位で「コミュニティバス」が運行されるようになっていて、全てではないのですが、車いすも利用できるノンステップ型も多く走っています。

浦添市では11月1日から「デマンド型コミュニティバス実証実験」がスタートしていて、「利用対象/どなたさまもOK」「市内一律料金/大人400円で65歳以上と障がい者は300円」とありました。

問合せしてみると、なんと!車いすユーザーは利用できなくて、自立乗降できる方と返事。ビックリでした。

そこで、利用対象者がどなたさまもOK(浦添市住民及び勤務者等)とあるからには、車いすを排除することは障がい者差別ということで、バリアフリー対策を沖縄県自立生活センターイルカの皆さんと協働で要望してきました。

10月1日から「浦添市福祉のまちづくり条例」が施行している浦添市ですが、残念でたまりません。引き続きアクションしていきます。

会員の市町村で、同様な問題などがあれば、ご連絡ください。動きます。

うらちゃんmini
浦添市内を
どこまでも。

2020
11月1日
START

デマンド型コミュニティバス
約1年間の実証実験を予定

運行区域	市内一律料金	運行時間
浦添市内全域	大人 400円 65歳以上 障がい者 300円 小学生以下 200円 ※小学生以下は保護者同伴必須	7:00-19:00 予約受付 6:30-18:30

電話予約 098-875-0250 (10月まで)

WEB予約 QRコードから予約フォームへ

※障がい者利用のため、道路状況により乗降場所が変更される場合がございます。(予約方法は別途)

障がい者 IT 活用ストーリー (宮城幸春さんのIT支援報告)



障がい者IT活用ストーリーのご紹介、今回は宮城幸春(みやぎ こうしゅん)さんのIT活用をご紹介いたします。宮城幸春さんは頸椎損傷による四肢麻痺の障がいを持っており、首から下は動かす事ができません。ベッドの上と車いすでの生活ですが、幸春さんはベッド上でも車いす上でも自由自在にパソコンやIT機器を操作することができます。



まず、車いす上でのパソコン操作では車いすに取り付けられたICT操作セット(スマホ置き、タッチペン、タッチパッド付キーボード、等々)をセットしパソコンの前にスタンバイします。スマートスピーカーのアレクサを使いパソコンの起動をおこなうと、タッチペンを咥えて、器用にワイヤレスタッチパッド付キーボードをつかって操作します。ワードやメール、LINEといった文章の入力操作だけでなく、名刺のデザインやホームページのデザインといった高度な操作もこのタッチペンとワイヤレスタッチパッド付キーボードのみで操作を行っています。

ベッド上ではタッチパッドを顔近くに設置しこちらもタッチペンを咥えて操作します。

また、スマートスピーカーではパソコンの起動だけでなく、部屋のライトのオン、オフやテレビの操作など身の周りの機器操作も一人でやる事ができます。



様々な機器を取り扱う幸春さんですが、今後は障がい者のICT支援やアナログからデジタルへ移行するサポートも積極的に行いたいと話して頂きました。

宮城 幸春さんの様子は障がい者ITサポートセンターのYoutubeにアップしておりますので、ぜひ見に来てください。

Youtube ▶ https://www.youtube.com/watch?v=RW_3hqc1vUg&t=240s

デジタル社会に困っていませんか？

コロナ禍で、密を防ぐ必要からテレワークやオンライン（ZOOM）が広がりました。行政手続きも役場に行くことなく郵送申請となったりしています。味気なく感じるのは私だけでしょうか。

最近、沖脊協事務局に会員からのデジタル・ITに関する相談・問い合わせが増えてきています。

「携帯ガラケーからスマートフォン（スマホ）に変更しようと考えているけど、どうしよう？」「スマホの機種変更でデータのバックアップはご自身でしてくださいと言われたけどわからない」「マイナンバーカード手続きがインターネット利用で面倒くさいしわからない！」などなど。



身体障害者手帳



そうなんです。コロナによってデジタル化が必然となってきて、デジタル社会に進む方向で国が打ち出してきたのです。身近なところでは身体障害者手帳のカード化は佐賀県、大分県では始まっています。問題は、パソコン、インターネットといったIT、デジタルについていききれない高齢者やデジタルが苦手な方々、視覚、聴覚といったコミュニケーション障がい、又頸髄損傷の四障がいにとっては情報保障されないという社会問題も出ています。

PASSWORD...



また、「Gotoキャンペーン」、「マイナポイント」といった国の景気回復対策も打ち出されたりしています。スマホの値下げ競争等はインターネット（WEB）申請を前提に価格を下げています。これらは全てがパソコンやスマートフォン等での手続きが基本です。皆さんは一人でインターネットから申込できる自信がありますか。そうです。多くの方が困惑しています。



沖脊協役員では、会員の皆さんのデジタル支援を少しずつでも進めることができなかと話し合い、結果「会員の情報ネットワーク化」を目指そうと決めました。その第1弾として取り組むのが「オンライン新年会」です。

会員でもある具志壮士さんが担当となって、現在会員の皆さんに連絡している最中だと思しますので、ご協力お願いいたします。

4月から国は「デジタル庁」が創設されデジタル政策が加速されます。会員の皆さんがデジタル社会から取り残されないためにも沖脊協は可能な限りバックアップしたいと考えています。幸いにも沖縄県委託の「沖縄県障がい者ITサポートセンター事業」を運営しているので活かされると思います。

何でも構いませんのでデジタル問題だけでなく、なんでも相談対応するのでご連絡ください。



からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 林 秀一
TEL : 098-867-0006
FAX : 098-867-0008
〒900-0004
那覇市銘苅2-11-19
グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



フリーダイヤル

0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com http://www.ryukyu-chiryoin.com/

バリアフリー
スポット

ユニバーサルタクシーで おでかけしましょう！

「UDタクシーうちなあ」から車いすユーザー向けに活用の広報依頼がありました。

下記の対応されるとのことです。ぜひ一度ご利用
ください。

- ▶ 料金は普通タクシー料金（事前予約が必要）
- ▶ 介護資格を持っているドライバー対応
- ▶ 障がい者、免許返納者は10%割引

UDタクシーうちなあ 担当：新崎

TEL 080-7707-9604

✉ udtaxiokinawa@gmail.com

営業時間：7時～24時 予約受付：10時～22時

じょーとータクシーで おでかけしましょうね～！

※料金は普通車タクシー料金です
※事前の予約が必要です



しゃりん寄稿のお願い

沖縄協では、しゃりんへの寄稿を募集しております。
ご自身の褥そう体験や会員の皆さまへのニュースネタ、
自己紹介、雑記など幅広く募集いたしております。
オンラインフォームも用意しております。
オンラインフォームへの入口はホームページにも
設けております。
オンラインフォーム <https://bit.ly/2AZtLH8>



編集後記

現在、今週末開催予定のZoom オンライン交流会の準備で、中心メンバーとして動いている事務局の小倉さんと会員の具志さんが非常にがんばっております。例えば参加者に無料で郵送される炭火焼シリーズは、ヘルパーさんが料理を作っても頼みやすい「湯せん」方式。皆さんが楽しめるようさまざまな工夫を考えております。詳しいご報告は次号にて。(砂川)

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。
お支払いがまだの方は事務局にて直接、もしくはお振込をお願いします。

正会員
年間 3,600円

Rakuten 楽天銀行

楽天銀行 第二営業支店(普通) 7104311
トクビ) オキナワケンセキズイソソシヨウシャキョウカイ

賛助会員 (個人)
一口 3,000円

沖繩銀行

沖繩銀行 石嶺支店 (普通) 1520193
特非) 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作

賛助会員 (団体)
一口 5,000円

琉球銀行

琉球銀行 石嶺支店 (普通) 445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根建作